

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



パリ事務所

日本文化の祭典「Japan Tours Festival」に出展しました！

クリアパリ事務所は、7月1日から3日間、フランスのトゥールで開催された「Japan Tours Festival」にブースを出展し、自治体のプロモーション活動を行いました。

「Japan Tours Festival」は、日本の伝統文化、漫画、コスプレ、ビデオゲームなどに関心のある人々が集う、フランスのサントル＝ヴァル・ド・ロワール州最大の日本関連イベントです。

コロナ禍の影響により、2度の延期を経て約2年ぶりに開催された同イベントには、3日間の累計で過去最多の2万5,000人以上の来場者が訪れ、日本への関心の高さがうかがえました。

パリ事務所のブースでは、北は北海道、南は沖縄まで様々な自治体の紹介パンフレットやイベントのチラシなどを設置し、訪れた方々に対して観光スポットや特産品など各地の魅力について紹介しました。

クリアパリ事務所のブースを訪れた方からは、「日本の主要都市だけでなく、魅力的な地方都市を知ることができてよかった」「早く日本に行きたい」といった声が寄せられました。

フランスでは、コロナ禍においてもこのような対面形式のイベントが徐々に再開しています。依然として気軽に往來することが難しい状況ではありますが、このようなイベントへの出展を通じて、まだ知られていない日本各地の魅力を一人でも多くの人に知っていただけるよう努めてまいります。



来場者に日本の紹介をするクリアパリ事務所職員



会場で行われた阿波踊りのパフォーマンスを観覧する来場者



ロンドン事務所

オンラインで旬の欧州情報をお届けしております

クリアロンドン事務所では、日本の地方自治体関係者などを対象に、欧州などにおいて幅広い分野で活躍されている方々を講師としてお招きし、セミナーを毎月オンラインで開催しています。2022年においては、これまでに「SDGs」や「環境政策」などをテーマとしたオンラインセミナーを実施してきました。欧州における最新事情を各講師からお話しいただく中で、受講者からたくさんのご意見、ご質問をお寄せいただき、活発な質疑応答も行われました。また受講者からは「日本の現場とは異なった考え方を学ぶことができた」「日本では得られない貴重な情報に触れることができた」などといった感想をいただいているところです。クリアロンドン事務所では、このような皆さまの関心の高い対象国の動向を引き続きフォローしながら、旬な情報を今後も積極的に発信していきます！

また、皆さまからのテーマリクエストも随時募集しております。この国のこんなトピックについて聞いてみたい、このテーマに関する欧州の現況について知りたい、など、具体的なお要望がありましたら、ぜひ当事務所 (mailbox@jlgc.org.uk) の担当 西田・西川宛にご連絡ください。



当事務所オンラインセミナーのウェブページの二次元バーコード

2022年前半のセミナー実績

日付	テーマ	講師
1月19日	ドイツにおけるジェンダー・ポリティクスと政策	ジャスミン・ルカト氏
1月21日	コロナ禍で学んだ大きな違い：英国流儀 vs 日本流儀	片岡修平氏、地主純氏、吉武理恵氏、佐浦弘一氏
2月22日	オランダの事例に学ぶ、地域に浸透するサーキュラーエコノミーの実現	安居昭博氏
4月20日	SDGsの本質と自治体によるアクション：2030年まであと8年、自治体が地域社会や未来のためにできること	原琴乃氏
5月25日	日本の「食と旅」をキッカケに、地方の魅力をヨーロッパに発信し、生産者・企業へ貢献する	辻真宏氏、川端徹也氏、大峯貴志氏
6月29日	デンマークの自治体や民間におけるNetZeroへの取り組み	ニールセン北村朋子氏



北京事務所

日中国交正常化 50 周年記念・沖縄魅力体験イベントが開催されました

7月2日、在中国日本国大使館において「日中国交正常化 50 周年記念・沖縄魅力体験イベント」が開催されました。在中国日本国大使館と沖縄県北京事務所が共催し、抽選で選ばれた北京市民ら 100 名超が参加しました。

当日は、沖縄のラフテー・泡盛などの試食・試飲、こーれーぐーす（島とうがらしを泡盛に漬け込んだ沖縄県の調味料）制作体験などのオフラインイベント、そして沖縄伝統音楽の演奏会などのオンラインイベントを組み合わせで開催されました。

参加者からは「日中国交正常化 50 周年を機に人の往来がもっとできるようになってほしい」という意見も寄せられ、今後のインバウンド促進に期待が感じられるイベントとなりました。

クリア北京事務所では、今後もさまざまな機会をとらえて自治体の魅力発信支援を行っていききたいと思います。



沖縄音楽を聴く参加者



試飲コーナーに立ち寄る参加者



ソウル事務所

大韓民国の総合観光展「第 37 回ソウル国際観光展」に出展

クリアソウル事務所では、6月23日から26日までの4日間、ソウル江南区の複合施設で開催された「第 37 回ソウル国際観光展」に出展しました。

ブースでは、日本の各地域の PR を行うと同時に、お酒や自治体の特産品などが当たる抽選イベントを行い、来場者に楽しんでいただきました。また、各地の観光やグルメについての質問もあり、関心の高さがうかがえました。

今回は、41 か国から 407 ブースの出展があった中で、工夫を凝らしたイベント企画を行ったことが評価され、ブースイベント賞を受賞しました。

日本への渡航が徐々に緩和される中でのブース出展であったため、「日本へ行くためにはどうすればいいか」「ビザの取得が必要か」などの渡航に関する質問が多く、パンフレットで空港からの移動手段などを確認する様子も見受けられました。また、日本へ旅行に行ったときの思い出や今後日本旅行で行きたい場所について直接話を聞くことができ、日本へ旅行に早く行きたいという思いが伝わってきました。

今後も韓国のイベントなどに出展し、日本により興味を持っていただけるよう引き続き日本各地の魅力を発信してまいります。



ソウル国際観光展の様子



ニューヨーク事務所

カナダ・オンタリオ州の自治体が参加する実務者会議に出席しました

クリアニューヨーク事務所では、北米の州・地方政府などとの連携強化や情報交換を目的に、当地の地方自治関係団体の年次総会に参加しています。今回、2022年6月12日から15日に、The Association of Municipal Managers, Clerks and Treasurers of Ontario (AMCTO) が、カナダ・オンタリオ州のナイアガラ・フォールズで開催した年次総会に出席しました。

AMCTO は、オンタリオ州の自治体の実務責任者であるシティ・マネジャーやシティ・クラーク、財務担当者などにより構成される組織で、同州内の自治体職員向けの研修や調査研究などを行っています。当事務所と AMCTO は 2011 年から交流を行っており、自治体からの依頼によるカナダでの海外活動支援や海外事情調査時においても、協力を得ています。

今年の総会では、主に、州内自治体におけるデジタル化の手法や多文化共生の取り組みなど、喫緊の行政課題をテーマとした講演やワークショップが行われました。また、会期中、クリアが実施している海外自治体幹部交流セミナーに参加した経験を持つ自治体関係者との意見交換会を行い、さらなる連携強化を図りました。



年次総会の案内



意見交換会の様子



シンガポール事務所

タイ・バンコクでの日本産フルーツ調査

5月下旬にタイのバンコクで、日本の果物に係る店頭調査や事業者へのインタビューを行いました。

日本産の果物は、人件費や輸送コストがタイの周辺諸国よりも高くなることから、ASEAN産や中国産の3倍以上の価格で販売されることが通常で、大ぶりで見た目も味もいいことから高級フルーツとして認知されており、購買層も中～高所得者層が中心となります。例えばりんごは、小玉4つのパック売りが一般的な中、日本産は個包装1個単位で販売されています。特に人気の高い果物はぶどうといちごです。

また、大きくて甘く、固めのフルーツが好まれ、特にももや柿にまで固さを求める点は、日本人の嗜好とはやや異なります。

輸出については、選果こん包施設や園地の登録、残留農薬基準などの輸入条件をクリアする必要があります。そのため、規制の厳しいメロンやスイカ、柑橘類やトマトの日本産はほとんど出回っていません。一方で、ASEANで高品質なものの生産が難しいりんごや柿は、日本で売られているバナナのように、輸入果物として高い知名度があります。



日本産りんごは個売りで、大きさや産地により1個100～300パーセント(約370～1,130円)と幅が広い



タイで一般的な包装の他国産りんごは4個入りで65パーセント(約240円)ほど

タイで一般的な包装の他国産りんごは4個入りで65パーセント(約240円)ほど



シドニー事務所

栃木県真岡市・ハーヴィー市友好都市締結オンライン調印式開催

6月21日、西オーストラリア州のハーヴィー市で真岡市・ハーヴィー市友好都市締結オンライン調印式が開催され、クレアシドニー事務所職員はハーヴィー市において調印式に参加しました。

真岡市は、日本の中央に位置し、豊かな自然環境に恵まれ、農業、工業、商業がバランスよく調和した都市で、「日本一のいちごのまち」として定評を得ています。

ハーヴィー市は、西オーストラリア州パースの南に位置し、美しいビーチや川、農地など、その環境の多様性で知られています。

両市の交流は、2003年の真岡中学校とオーストラリア・シニア・ハイスクールとの姉妹校締結をきっかけに始まり、2021年には両市長のオンライン会談や真岡市内の3中学校とハーヴィー・シニア・ハイスクールとのオンライン交流が実施されるなど交流を深め、友好都市提携に至りました。今後、教育以外の分野への交流拡大が期待されています。

クレアシドニー事務所では、引き続き真岡市とハーヴィー市の友好都市交流の支援に取り組んでまいります。



友好都市提携に調印するハーヴィー市長



ハーヴィー市関係者と鈴木在パース総領事



多文化共生課

2022年度地域国際化協会連絡協議会総会をハイブリッドで開催しました

地域国際化協会は、総務省の指針に基づき、県などが作成した「地域国際交流推進大綱」に位置づけられた中核的民間国際交流組織で、地域の実情に沿った多文化共生施策などに取り組んでいます。また、地域国際化協会によって構成される連絡協議会の事務局がクレアに設置されています。

2022年5月20日に地域国際化協会連絡協議会総会を開催したところ、56団体84名の方にご出席いただき、盛況のうちに終えることができました。

過去2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催となり、今年度も難しい選択を迫られましたが、感染症対策を徹底した上で、協会間の連携をより深めるため、現地参加と、オンライン参加を可能とすることで、開催に至りました。

当日は、神田真秋地域国際化協会連絡協議会会長による議事進行のもと、役員の変更、2021年度事業報告・収支決算、2022年度事業計画(案)・収支予算(案)が満場一致で承認されると同時に、出席された皆様からのご質問や貴重なご意見、本年4月より新たに構成員に加わった、公益財団法人新潟市国際交流協会によるご挨拶を賜りました。

現地参加者、オンライン参加者間の垣根を越えた、実り多い交流の場をご提供できたという自負の一方、今回の開催方法の利点や課題も浮き彫りになり、今後の会議運営について示唆を得るとともによい経験を積むことができました。

地域国際化協会連絡協議会では、総会で承認された2022年度事業計画に基づき、各協会間の情報交換、連携強化、職員研修などにより、地域におけるさらなる多文化共生を推進してまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

URL: <http://www.clair.or.jp/j/multiculture/association/rilea.html>



ハイブリッド開催風景

JET プログラム事業部

Basic Online ALT Training System for JETs ~ BOATS for JETs ~ 新規来日 ALT 向け基礎力向上オンライン研修

新規来日 ALT の基礎力を高めるため、「オンラインコース BOATS for JETs」を開講しています。このコースでは日本の学校で働くための基礎知識やチームティーチングの進め方、語いやスピーキングの指導スキルが学べます。内容は ALT・任用団体・英語教員に実施したニーズ調査を元に構成されており、ブリティッシュ・カウンシルと協力して開発と運営を行っています。

全 13 時間のコースでは、テキストを読んだ後にクイズなどで理解度を確認し、主体的に考えながら進める形式です。具体的な指導法の動画も含まれており、一定のスコアを取れば修了証も受け取れます。

昨年度の修了者の 9 割が「受講後、教える準備ができた」と回答しており、また多くの受講者から「実際の指導の仕方についてわかりやすいお手本を見ることができた」という感想が寄せられました。新規来日 ALT のメールアドレスに受講の案内が送付されていますので、コースの受講と活用についてぜひお声かけください。



修了証



指導テクニックの紹介 (イメージ写真および動画のシーン)

経済交流課

新たなプロモーションアドバイザーを登録！ ~韓国インバウンド、オルレ事業など~

クレアでは、自治体の海外プロモーションを支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家（プロモーションアドバイザー）を派遣し、相談対応や専門的な助言・情報提供などを行うプロモーションアドバイザー事業を実施しています。現在、登録アドバイザー数は 33 名（社）となっています。

この度、新たなプロモーションアドバイザーとして「オルレコミュニケーションズ 代表 李 唯美（イ ユミ）」さんを登録しましたのでお知らせします。


プロモーションアドバイザー派遣に関する相談、依頼は随時受け付けております。派遣に関する経費は原則クレアが負担いたしますので、ぜひご活用をご検討ください。

なお、事業の詳細、活用事例、プロモーションアドバイザー一覧などの情報はホームページからご覧いただけます。

<http://economy.clair.or.jp/activity/dispatch/>

【お問い合わせ】

経済交流課 Tel : 03-5213-1726 Mail : keishin@clair.or.jp

アドバイザー氏名・略歴	オルレコミュニケーションズ 代表 李唯美 韓国ソウル市出身、韓国 SK GLOBAL、一般社団法人九州観光推進機構を経て現職。社団法人済州オルレ日本支社長、宮城県オルレアドバイザーなどを兼任。	
主な専門分野	韓国における訪日プロモーション事業、韓国市場調査・現地コーディネイト、韓国のマスコミ招聘コーディネイト、韓国語の通訳・翻訳、トレイル（オルレ）を活用した地域活性化事業など	
主な事業実績	韓国インバウンドのための商品企画・コンサルティング、自治体向けの情報発信事業のアドバイス、韓国市場調査・現地コーディネイト、韓国マスコミ・旅行社・インフルエンサーなどの招聘事業、日本におけるオルレ事業の推進、トレイル（オルレ）を活用した町おこし、プロモーション、講演、九州オルレ・宮城オルレ各コース担当者研修、日韓通訳・翻訳業務など	

交流親善課

第 17 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） （2023 年）候補団体を募集しています

クレアでは、総務省との共催で、姉妹都市提携などに基づく国際交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取り組みを行っている団体を表彰します。公募は自治体だけでなく、自治体からの推薦があれば、民間非営利団体からもご応募いただけます。



第 13 回自治体国際交流表彰受賞の様子

経済、教育、文化・スポーツなど幅広い分野の交流を対象としています。皆様からのご応募をお待ちしております。
表彰対象団体：都道府県、市区町村または地域国際化協会もしくは国際交流協会などの民間非営利団体

表彰対象となる取り組み：姉妹自治体提携に基づく交流活動のほか、海外自治体と特定分野（教育、経済、観光、防災など）の協定、覚書などに基づく交流（協定などによらないが、国内自治体が公認し、継続性があるものなどこれに準ずる交流を含む）および多文化共生の取り組みにより交流活動に発展したものの

応募期限：2022 年 11 月 30 日（水）

詳しくは <http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html> をご覧ください。

市民国際プラザ

多文化共生支援団体リストと団体インタビューページがリニューアルされました！

市民国際プラザでは、より分かりやすく情報を届けるために、ウェブサイトの「多文化共生支援団体リスト」と「団体インタビューページ」をリニューアルしました。団体リストには活動を紹介する記事のリンクを、インタビューページも表形式に変更するとともに、関連リンクに飛べるようにしました。是非この機会に訪問ください！

また、市民国際プラザでは、国際協力、多文化共生、SDGs をはじめとする諸課題などに関し、ご相談・ご質問を随時受け付けております。電話、メールまたは、事前にご予約の上 Zoom や来訪のご相談も可能です。

市民国際プラザ・ウェブサイト：
<http://www.plaza-clair.jp/>

【お問い合わせ】
Tel : 03-5213-1734

Mail : international_

cooperation@plaza-clair.jp



団体情報のページと活動状況の分かるインタビューページを行き来できるようになりました！